

2021年3月23日



## キリスト教センター 通信 Vol.32

# 激励メッセージリレー



タイトル 『 サヨナラの名場面 』

大学チャプレン 遠藤 洋介

♪今 春が来て 君はきれいになった。去年よりずっときれいになった♪

なごり雪 by 伊勢正三

春は出会いの季節であると同時に、別れの季節です。寒い冬から暖かな春に変わると、新しい生活に向けた期待があると同時に慣れた環境から離れなくてはいけないという不安を同時に感じる場合があります。自分のこれまでに「サヨナラ」をして、大学生活を終えて、新しい世界へと旅立っていく皆様、また、高校生活を終えて4月から大学生活を始める皆様。これから先、何度も経験するであろう「サヨナラ」を頑張って乗り越えていってほしいと思います。その先に新たな出会いや発見、経験が皆様を待っています。

「サヨナラ」には色々な形があります。過去の自分との決別、友達や大切な人との別れ、死に別れ、旅立ちの別れなど、人生の中で幾度となく経験していきます。それらは受け入れがたく、寂しさや辛さ、時には生きていくことに困難を覚えることもあるかもしれません。しかし、キリスト教では神様のお導き、壮大なご計画として、その「サヨナラ」の場面一つひとつに意味があると考えます。自分自身の成長の糧として、これからたくさん経験するその「サヨナラ」の場面を大切にしていきたいです。

皆様のこの春からの新しい生活に神様の祝福がありますようにお祈りしております。

### キリスト教 一〇〇〇 「信仰の父 アブラハム」

旧約聖書の創世記という書簡に「アブラハム」という人物が登場します。彼は、神様の命令にどんな時にも忠実でした。長年住んでいた土地を離れなさいという指示にも、大切な息子を神様への供え物にするために殺しなさいというあまりにも酷な指示(最終的にどうなったかは聖書を読んでみてください)にも、黙って従います。彼は神様の計画の中で生かされ、175歳という長い生涯を送りました。彼はその長い人生の中で多くの「サヨナラ」を経験し、すべてを神様のために献げたのです。そんなアブラハムは、旧約聖書の中で最も敬虔で信仰の篤い人物とされ、やがて歴史の中で「信仰の父」「神の友」などと呼ばれるようになりました。

## 新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

\*どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください\*

### 神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心になつた正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまの、み名によっておささげいたします。 アーメン

### 病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。また、医師と看護する者とを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

### 離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。 アーメン